

三和校区の

地域の声を聞かせてもらいました



今年は新型コロナウイルス感染症により地域活動や会議等が減り、皆さんとお会いしてお話する機会が少なくなっています。そんな中、ささえりあ三和では地域の現状を知ることが大切だと考え、地域の皆様方からお話を聞かせてもらいました。その一部をご紹介します。

防災



ケアマネージャー

台風10号の時、高齢者の方に避難を勧めましたが、ここは安全だと家から離れない方がおられました。回覧板などでハザードマップを配る等をおこなうことで、防災の意識を高めることが出来たらと思います。

避難所(学校など)には身障者トイレがなかったり、遠かったりする。支援が必要な方専用の避難所やスペースの確保があれば良いですね。

高齢者の見守り・支援

自治会長 校区社協長



民生委員さんと連携をとっているのでも、何かあれば連絡があります。民生委員は地域にとって大切な存在です。

一人暮らしの方のボランティア作業(例草取り)を考えていますが、世帯数が多いので対応出来なくなる心配があります。

地域活動



くまもと元気クラブの会長
(住民主体の運動の場)

参加者からは、運動をしたいとの声がありますが、感染症対策を考えながら開催しないといけない為、判断が難しいです。



皆さんからの声は、「協議体」の中で取り組んでいきます



「協議体」とは、自治会長、ボランティア、社協、行政機関、生活支援コーディネーター等を構成メンバーとして、地域の課題や地域が求めていることについて話し合い、資源の発掘・開発をおこなったり、住民同士で支え合う体制づくりに取り組む場です。

ボランティアさん募集中!

出来る範囲で無理せずに、ご高齢の方のお手伝いをやってみませんか?

例えば・・・

- 自分の買い物のついでに、ご近所で買い物に困っている方の分も買ってくる。
- ゴミ出しに困っている同じ団地の方のゴミを出す等・・・

その他、こんなことならやってみたい等あればお気軽にささえりあ三和までご連絡ください。

ささえりあ三和 担当(村上、山形)